

第4期中期目標策定にあたって ～島根創生計画との関連を中心に～



令和5年1月

■ 島根創生計画における県立大学への期待①

第1編 人口減少に打ち勝つための総合戦略

I 活力ある産業をつくる

3 人材の確保・育成

(1) 多様な就業の支援

【取組の方向】

- ① 若者の県内就職の促進 高校生や県内外に進学した学生に、県内企業等やそこで働く人に触れる機会などをふるさと島根定住財団等と連携して提供し、島根で働く魅力を伝え、県内就職を促進します。

IV 島根を創る人をふやす

1 島根を愛する人づくり

(3) 地域を担う人づくり

【取組の方向】

- ③ 県内高等教育機関での人づくり
地域に密着した教育・研究を、地元と一帯となって進めることで、主体的に地域課題の解決に向けて取り組む実践力を備えた人材を育成します。
- ④ 県内高等教育機関、県内企業などと連携した県内就職の促進
県内高等教育機関、県内専修学校（専門学校）、県内高等学校、県内企業などとの連携を強化し、入試制度の見直しや地域に密着した教育・研究を促進することなどにより、県内高等学校からの進学者の増加や県内高等教育機関や県内専修学校の卒業生の県内定着を図ります。

2 新しい人の流れづくり

(2)若者の県内就職の促進

【取組の方向】

- ② 県内大学等からの県内就職の促進
県内にあるメリットを活かし、県内大学と企業、県等がコンソーシアムを設立し、県外出身者を含む多くの学生が低学年次から県内企業等との接点を持てる多様な機会を提供し、県内就職を促進します。

■ 島根創生計画における県立大学への期待②

第2編 生活を支えるサービスの充実

VI 心豊かな社会をつくる

1 教育の充実

(5) 高等教育の推進

【取組の方向】

① 県立大学の教育・研究の充実

浜田キャンパスの総合政策学部を地域系の学部と国際系の学部改編のほか、地域の諸課題に対応する大学院、研究センター等の設置・改編の検討などを通じて、教育・研究の充実を図ります。

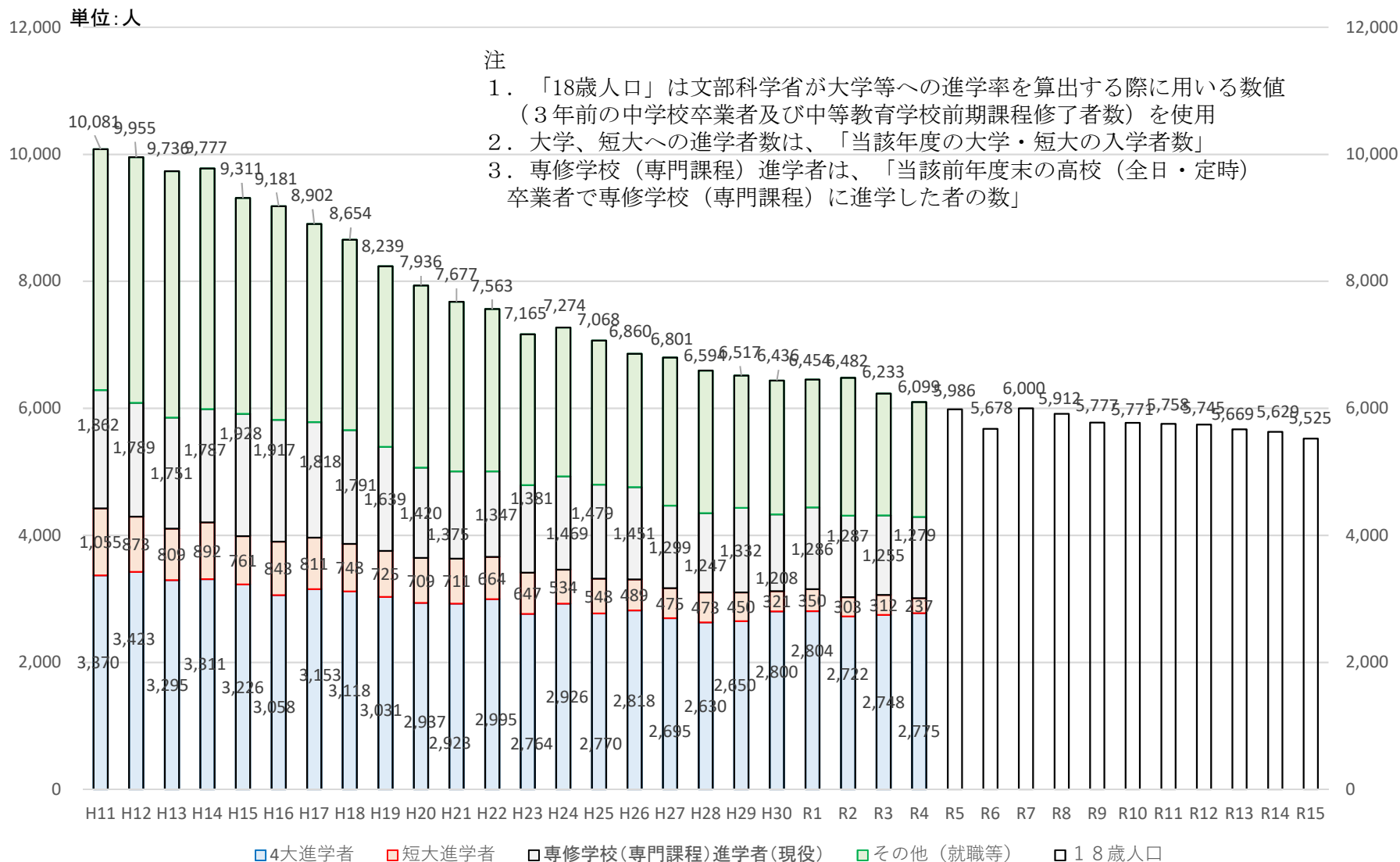
② 県内高等教育機関、県内企業などと連携した県内就職の促進

県内高等教育機関、県内専修学校（専門学校）、県内高等学校、県内企業などとの連携を強化し、入試制度の見直しや地域に密着した教育・研究を促進することなどにより、県内高等学校からの進学者の増加や県内高等教育機関や県内専修学校の卒業生の県内定着を図ります。

「卒業生の県内定着」が大きなテーマ

18歳人口の推移(島根県)

- 島根県内の18歳人口は、今後10年間で約10%減少する見込み
- 平成11年度と令和4年度を比較すると、大学進学率は33%が44%となり、短大進学率は10%が5%となった。

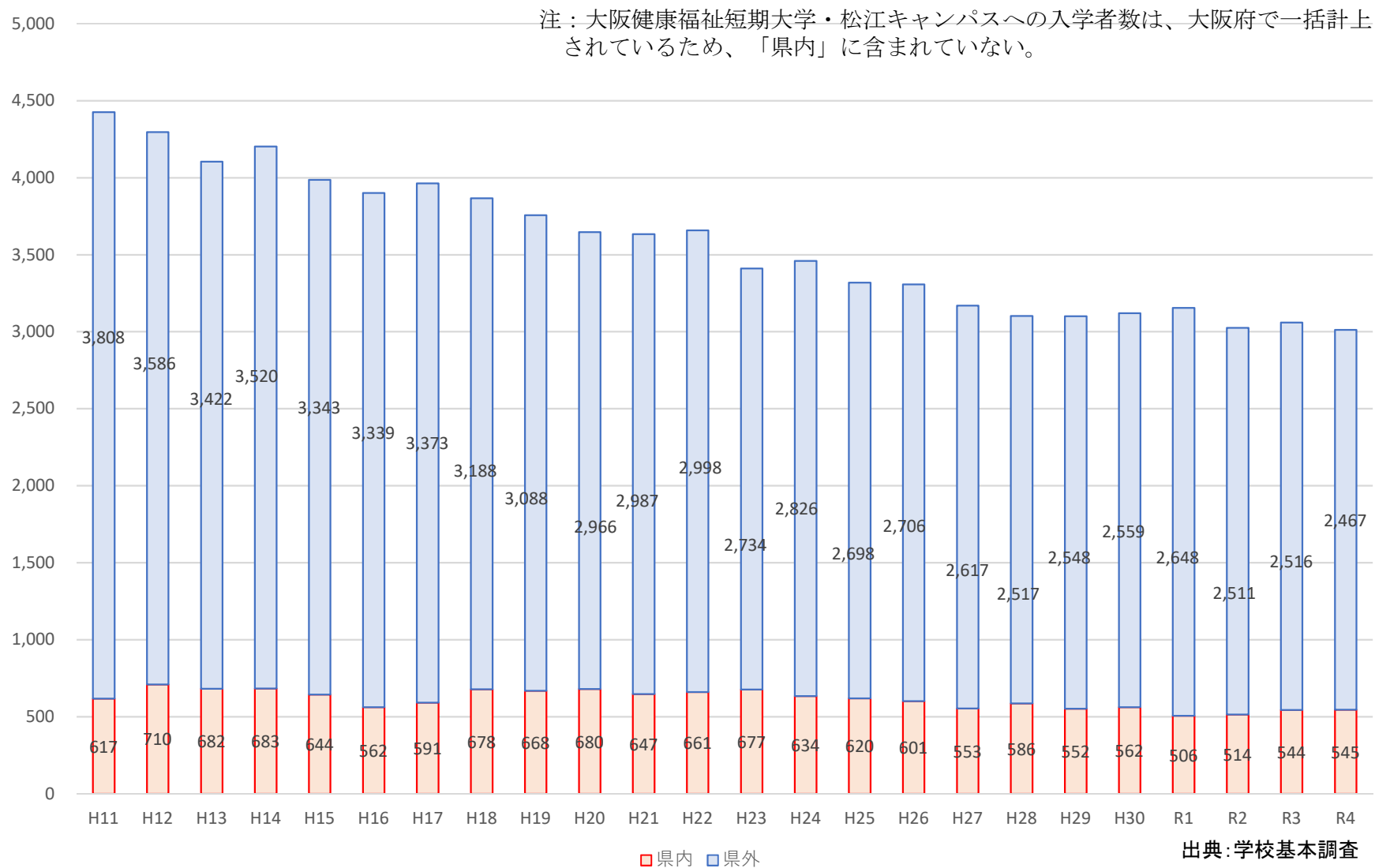


出典: 学校基本調査

進学先の県内・外別 大学・短大進学者数推移(島根県)

- 令和3年度現在、県外の大学・短大に進学した学生は2,500名程度いる。
- 県内高校から県内大学に進学した学生数は微減にとどまる一方、県外大学に進学した学生数は大幅に減少している。

単位:人

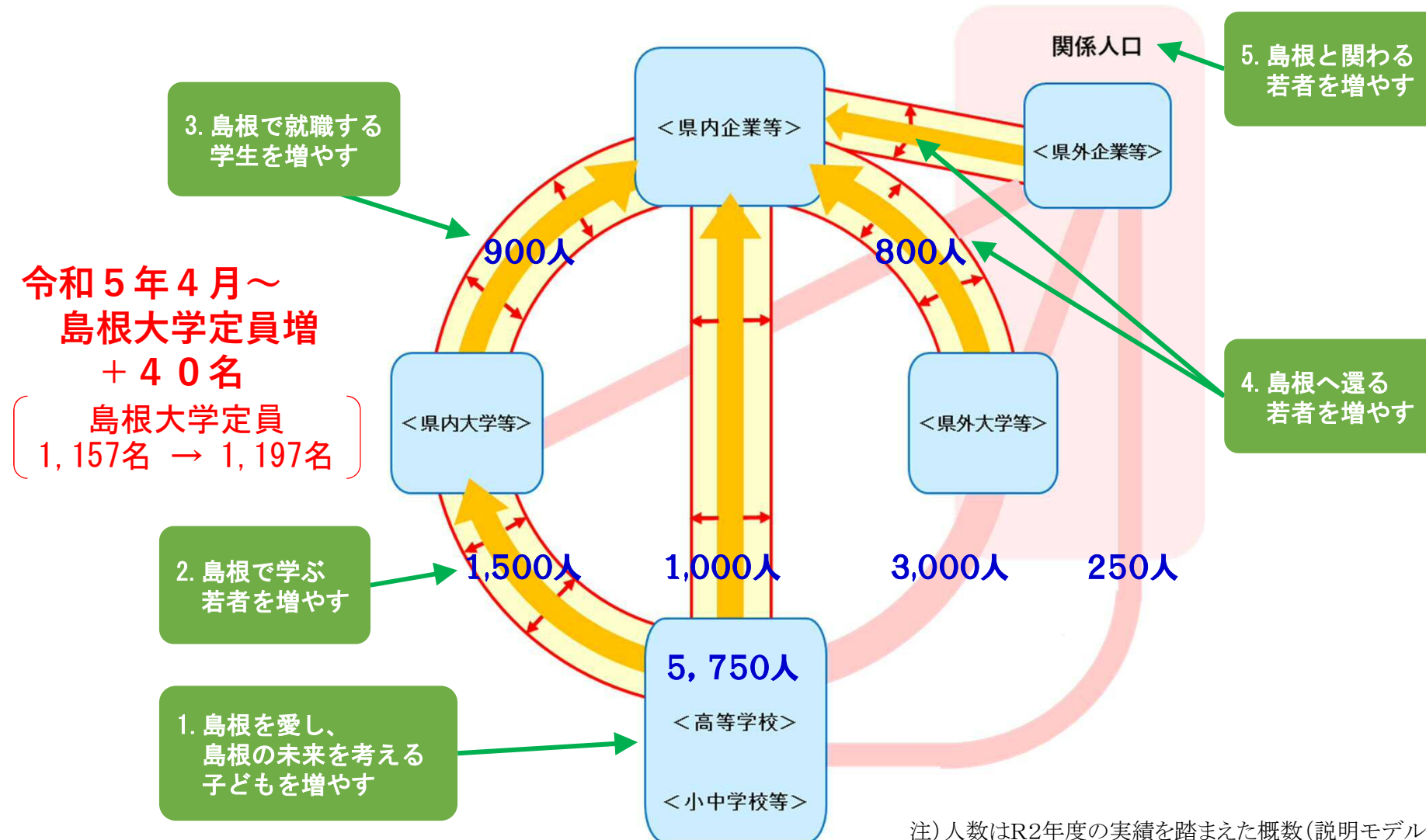


島根の若者の流れ

「島根を創る人づくりプロジェクト」
若者のライフステージに着目した5つのカテゴリー

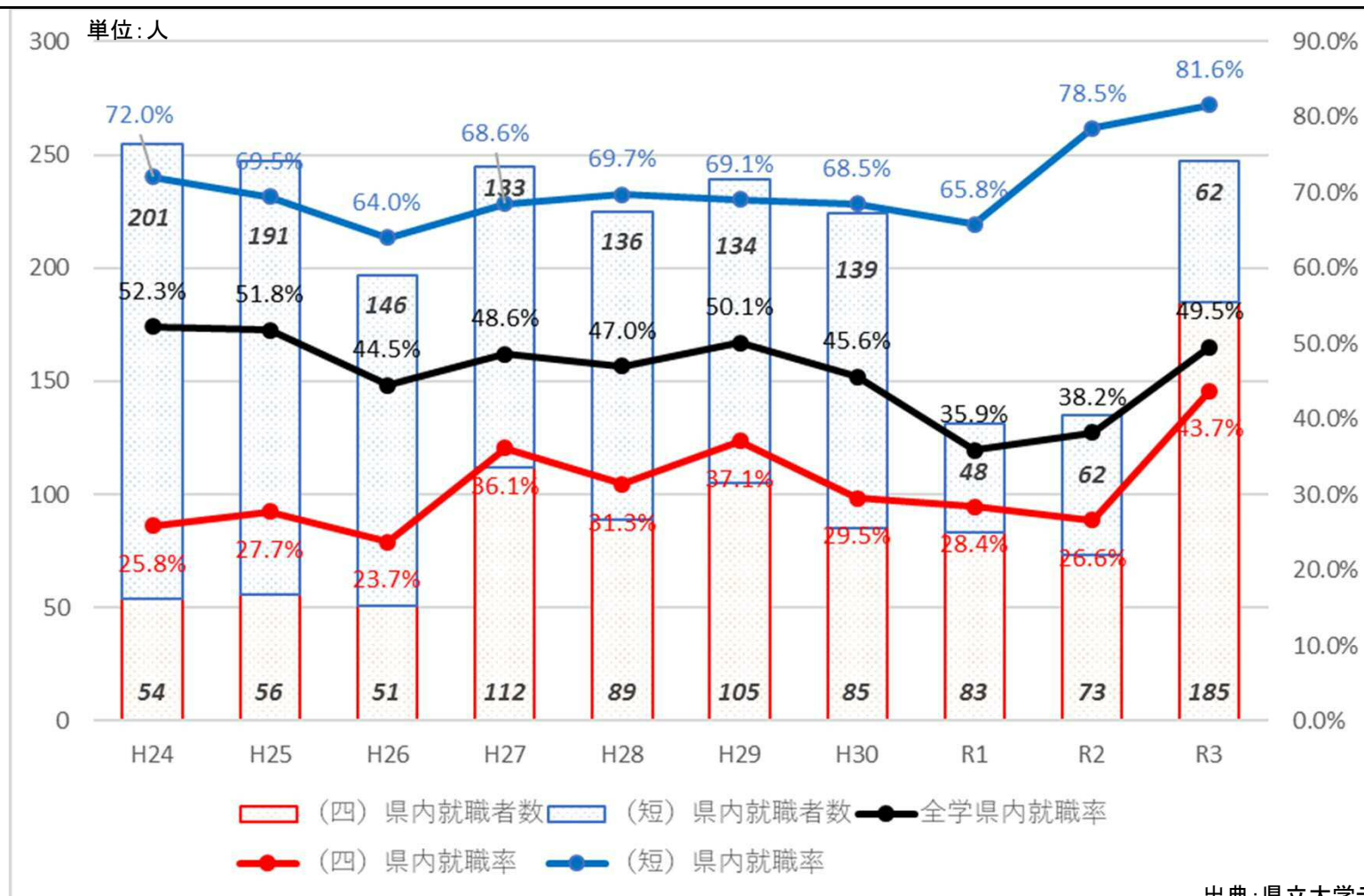
6

- 県内高等教育機関の収容力不足等により、高校卒業後に半数以上が県外へ流出
- 県外進学した場合の戻り率は約30%（800人／3,000人）※ 推計値
- 県内進学した場合の定着率は約60%（900人／1,500人）



県立大学における県内就職の状況①

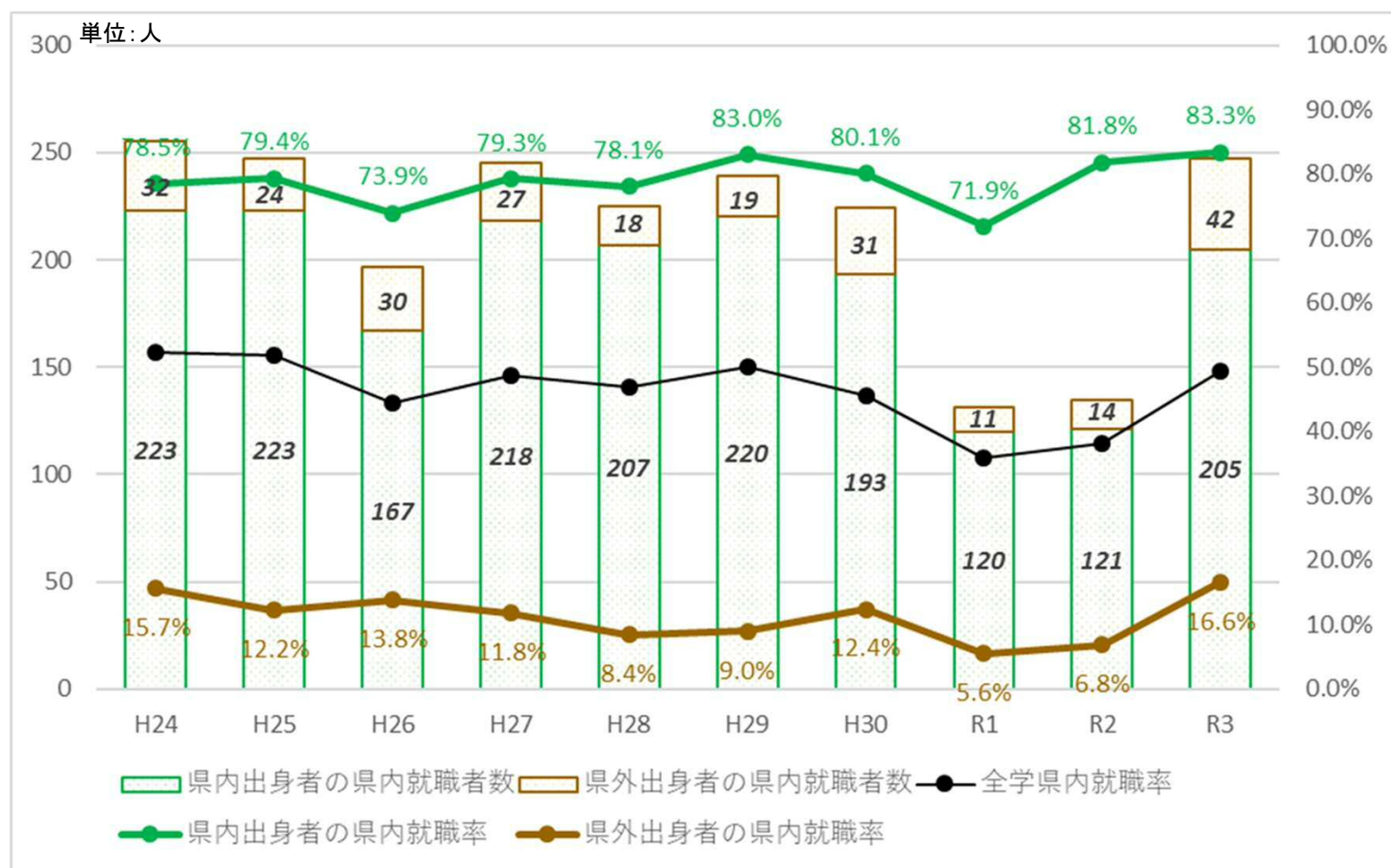
- 短期大学部の健康栄養学科、保育学科、総合文化学科の四年制化で卒業生が少なかった令和元、2年度を除いても、近年、低下傾向にあったため、県の人材確保育成コーディネーターなどと連携して学生の県内就職に向けた支援を強化し、3年度は49.5%まで上昇した。
- 短期大学部の県内就職率は高く、特に、上述の3学科の四年制化後の入学生(平成31年度入学、2年度卒業以降)については80%前後の数値となっている。



出典: 県立大学データ

■ 県立大学における県内就職の状況②

- 県内就職の状況を、学生の出身高校の県内・外別に見ると、県内高校出身の学生は概ね8割前後と高い水準で推移する一方、県外高校出身の学生は1割前後で推移している。
- 卒業生の県内定着率を高めるためには、県内高校出身の学生の割合を高めることが極めて重要。



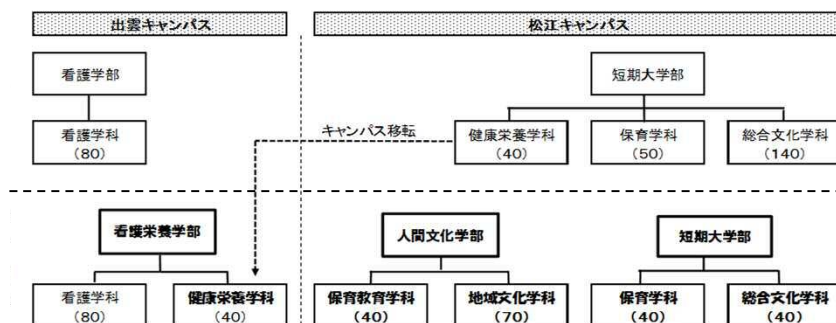
出典：県立大学データ

■ 学科等別 県内就職率

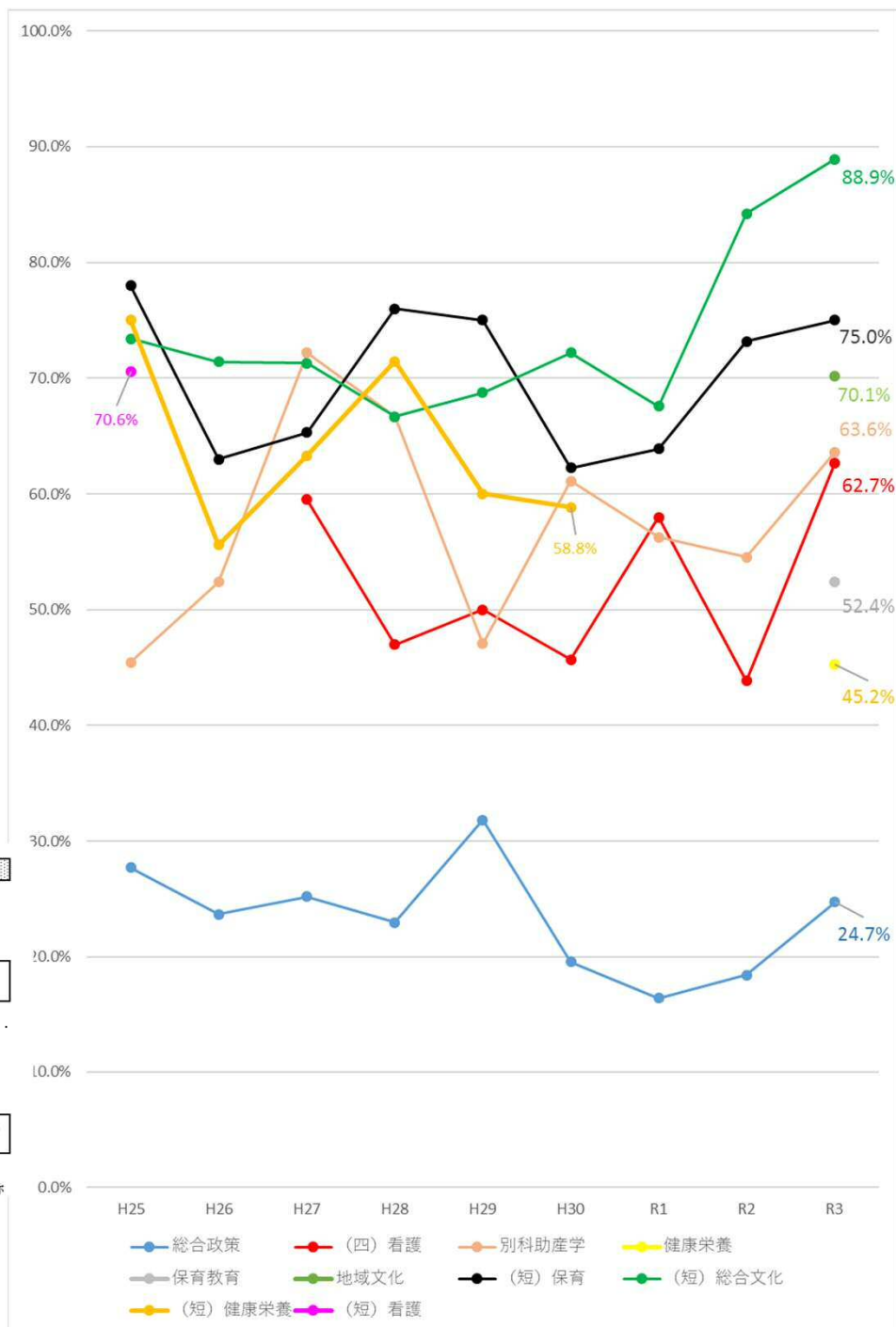
○ 他の学科に比べると、総合政策学科(浜田キャンパス)の県内就職率が低い

○ 短期大学部総合文化学科の県内就職率は、松江キャンパス4年制化以降、高まり、令和3年度卒業生は90%近くまで達している。

[参考]松江キャンパス4年制化(平成30年4月)

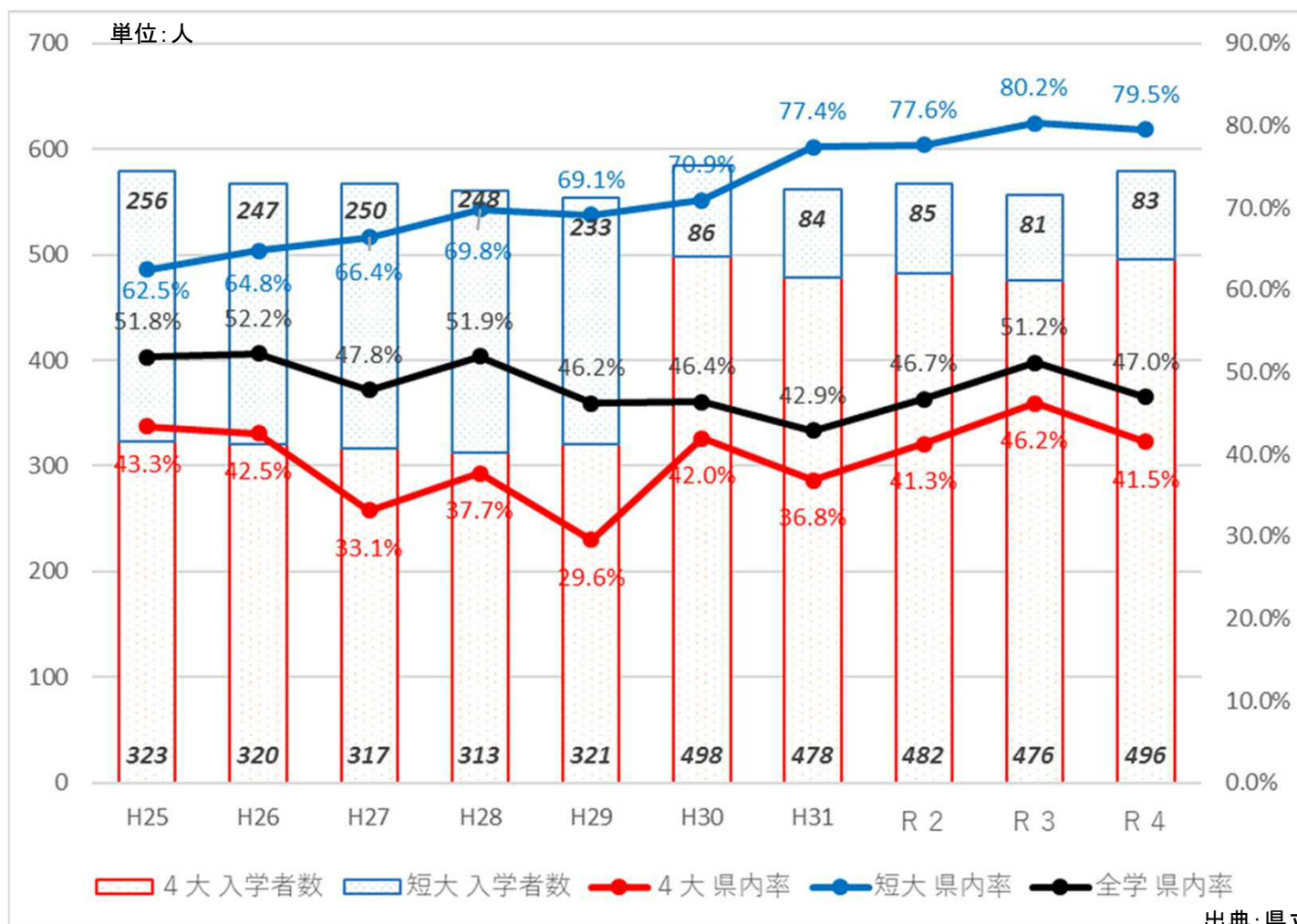


出典: 県立大学データ



■ 県立大学における県内入学の状況①

- 県内高校からの入学者が減少傾向にあることから、入試制度改革や県内高校と連携した取組を進める等により県内高校からの入学生の確保に努めた結果、入学者に占める県内学生の割合は、令和2、3年度は前年度と比べ上昇回復したものの、令和4年度には47.0%と前年度(51.2%)から低下した。
- 短期大学部の県内入学率は、平成31年度以降、8割前後にまで上昇している。



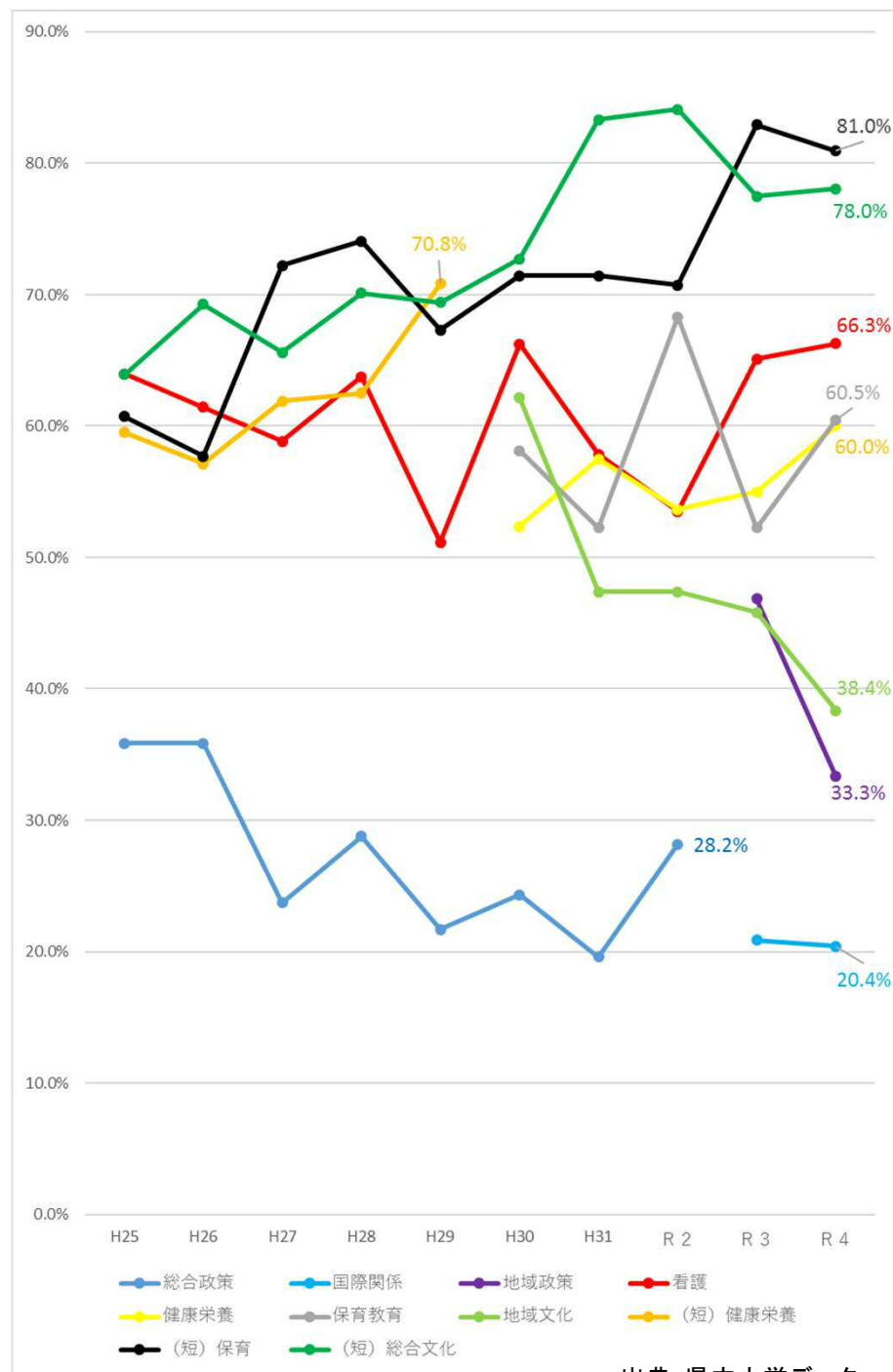
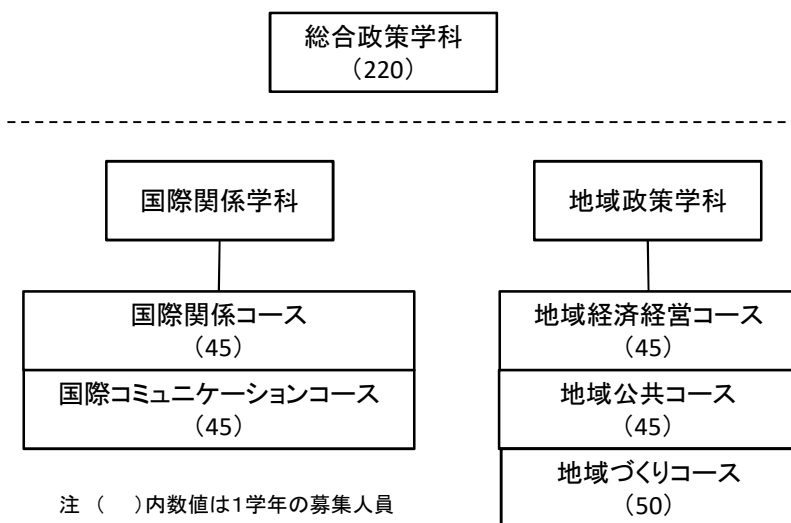
出典: 県立大学データ

■ 学科別 県内入学率

○ 他の学科に比べると、国際関係学科及び地域政策学科(いずれも浜田キャンパス)の県内入学率が低い

○ 地域文化学科(松江キャンパス)の県内入学率が低下している。

[参考]浜田キャンパス学部改編(令和3年4月)



出典: 県立大学データ

■ キャンパス別 県内高校からの受験者及び合格者の状況②

〔松江キャンパス(4年制学部)〕

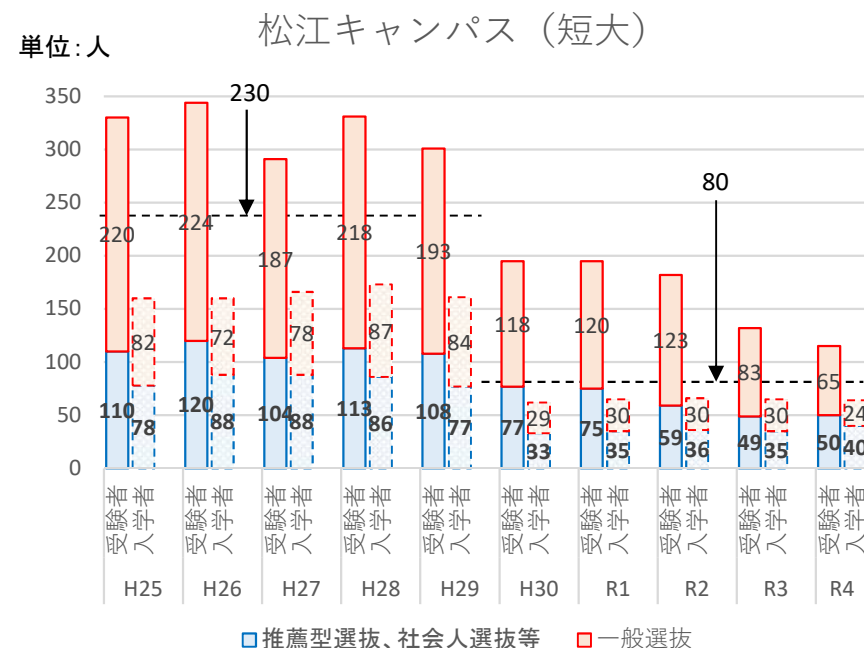
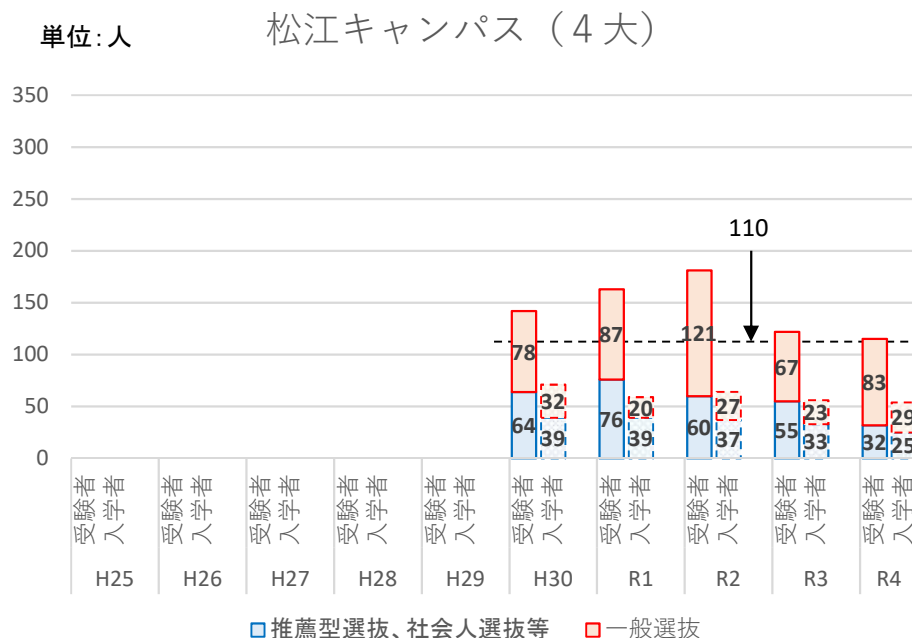
○ 平成30年度の開設以降、県内高校からの受験者数は増加基調にあったが、令和3年度からは減少傾向にある。

〔松江キャンパス(短期大学部)〕

○ 平成30年度に短期大学部の4年制化を行った際に、入学定員を230名から80名に減じた。それ以降も県内高校からの受験者数は、減少基調にある。

○ 令和5年4月からは、「総合文化学科」を「文化情報学科」に変更するとともに、「学校推薦型選抜」の1校あたりの推薦上限を2名から3名に増やすなど、受験者数の確保に努めている。

----- 入学定員



■ 県立大学の課題

卒業生の県内定着を進めるため、

1. 県内高校からの入学者を確保するため、入試制度改革や県内高校と連携した取組を進めるとともに、受験生、保護者や高校関係者に対し、入試制度や学びの特色などの情報提供を強化していくこと。
2. 県内就職を促進するため、県立大学の学びの特色を県内企業に理解してもらう取組や、学生が県内企業を知るためのインターンシップや企業説明会などの取組を強化していくこと。

大学の魅力化を推進するとともに、
保護者、高校関係者、県内企業等に
県立大学の特色を知ってもらうことが必要